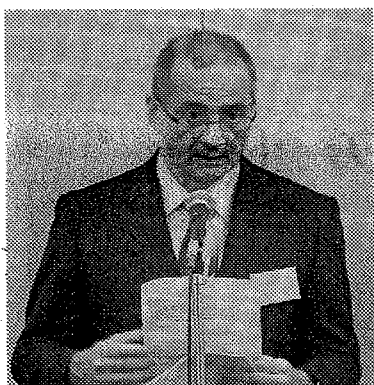


学術賞と研究助成金

松尾財団が贈呈式



松尾学術振興財団(宅間慶子理事長)は10月29日、東京・一ツ橋の如水会館で、今年度の松尾財団宅間宏記念学術賞を理化学研究所量

子凝縮物性研究グループのフランコ・ノリ(Franco Nori)グループディレクターに授与した。業績は「超伝導回路を用いた原子物理と量子光

学の研究」で、賞金は200万円。また松尾学術研究助成金を上智大学の岡田邦宏准教授ほか5人に贈呈した。

この学術賞および

助成金は、対象を日本では比較的日の当たりにくくマイナーといわれる「原子・分子の物理学と量子エレクトロニクス」の分野と限定しているユニークさがある。高度に専門的な選考委員会(数崎努委員長)を設けて、特化した専門家でないければ選択困難な萌芽的な研究を優先的に交付しており、その関係の研究者にとってはとても貴重なものとなっている。

今回助成金を受けた研究題目(代表研究者(敬称略)、金額(単位万円)は次の通り。

- ▼電子-陽子質量比の時間依存性研究のためのCa²⁺振動回転基底状態の生成とそのレーザー分光
- 岡田邦宏(上智大学理工学部准教授) 280
- ▼光学的ねじればねで捕捉された巨視的懸架鏡を用いた重力デコヒーレンスの実験的検証
- 松本伸之(東京大学日本学術振興会特別研究員PD) 410
- ▼反射機構を必要としないチェレンコフ型テラヘルツ波放射発振器に

関する基礎研究

- 李大治(レーザー技術総合研究所研究員) 300
- ▼パラ水素分子とマクロコヒーレンスを利用した高出力・狭線幅テラヘルツ光源開発
- 植竹智(岡山大学准教授) 310
- ▼レーザー生成プラズマを用いた新たなレーザー加速パルス電子の高強度化技術に関する研究
- 井上峻介(京都大学化学研究所助教) 300
- ▼短波長光渦による原子分子の光イオン化ダイナミクスの解明
- 金安達夫(九州シンクロトロン光研究センター副主任研究員) 400